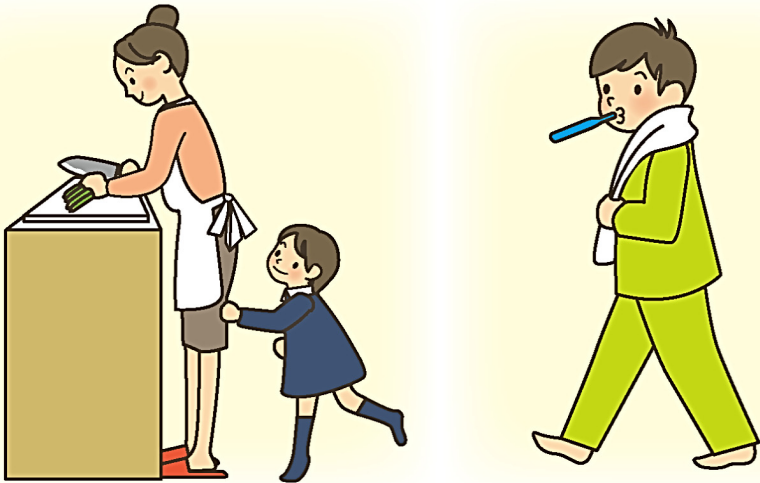




# 切る・刺さる

1 こんな時、どのような事故が起きるか想像してみましょう。(危険予知トレーニング)



— 「切る」「刺さる」は大人と子どもで多く発生しています。 —

## 2 主な事故 (実際にあった事例です)

**高齢者** ○調理中にスライサーで指をケガ



### 大人

- キャップされていると思い込んで果物ナイフを握り、手をケガ
- フードプロセッサーを清掃中に機械が動き、指をケガ
- 芝刈り中に回転している刃があたり、足をケガ



### 子ども

- 割れた食器を入れたごみ袋を踏んでしまい、足をケガ
- 工作でカッターを使用中に手をケガ
- 割り箸をくわえながら歩行中に転倒し、口をケガ



### 乳幼児

- 母親がミシンを使用中に、手を出してしまい、針が手に刺さり、指をケガ



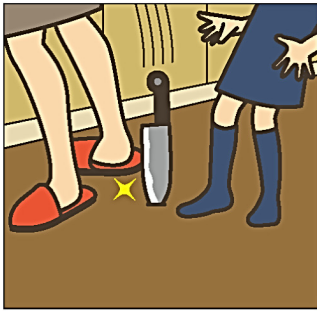
### 事故予防のためのチェックリスト

- 刃物を扱っている時、小さいお子さんの行動に注意していますか。
- に棒状のものをくわえたまま歩いたりしていませんか。

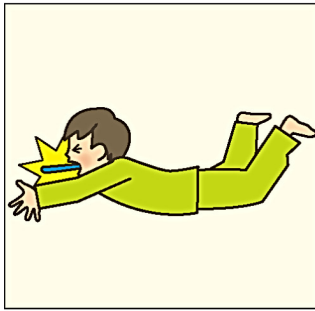
### 事故例



包丁を持ったまま振り向いたためにケガ



驚いた拍子に包丁を落下させたためにケガ



転倒した際に歯ブラシが刺さる

## 3 事故予防対策

### 調理中に注意

普段使い慣れているとはいえ、調理中に刃物を扱う場合は集中して安全に配慮しましょう。



### 工具の操作に注意



電気工具などでの事故は大ケガにつながりますので取扱説明書を読んで正しく使用しましょう。

### 周囲に注意

子どもが口に割り箸や歯ブラシなどをくわえて歩行しないように注意しましょう。



「切る」「刺さる」は出血を伴うことが多いので、止血方法を身につけるように努めましょう。

